

厚岸町事業者の思いやりを支援する バリアフリー事業助成制度

厚岸町では、町民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別解消のための取組として、事業者が障がい者のために行う環境の整備に必要な費用の一部を助成します。

助成制度の対象者

厚岸町内で、飲食、物販、医療など、不特定多数の人が利用し、障がい者の利用が見込まれる事業を行っている事業所。

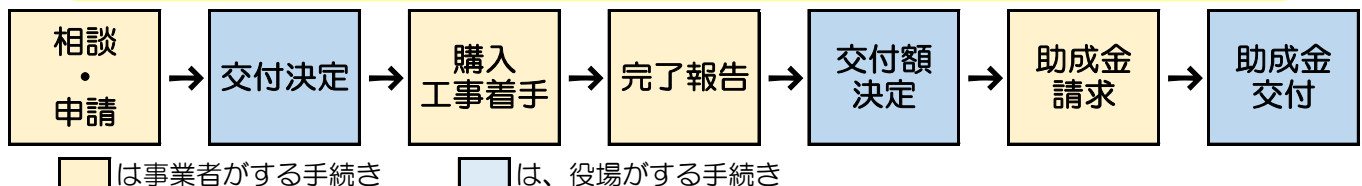
(ほかにもいくつか条件がありますので、詳しくはお問合せください。)

- 飲食店
- 生花店
- 銀行
- 薬局
- 衣料品店
- コンビニエンスストア
- 理容・美容
- 食料品店
- などが対象になります。

助成内容

助成の対象内容	対象事業費 限度額	補助率	助成限度額
● コミュニケーションツール作成 点字メニュー、会話ボードなど	10万円	対象事業の $\frac{1}{2}$	5万円
● 物品購入 筆談ボード、簡易洋式トイレ、 折り畳み式スロープなど	20万円		10万円
● 工事施工 簡易スロープ、段差解消、 手すりの設置など	20万円		10万円

申請から交付まで



お問い合わせ先

厚岸町保健福祉総合センター あみか21
 厚岸町保健福祉課子育て・障がい福祉係
 電話 0153-53-3333 ファックス 0153-53-3077
 メール hokenfukushi@akkeshi-town.jp

● コミュニケーションツールの作成

(例) コミュニケーションボード

聴覚障がいがある人向けのものです。
接客時に、指差しをして、コミュニケーションを図ります。

【会話ボードのイメージ】

● コミュニケーションツールの作成

(例) 点字メニュー

視覚障がいがある人向けのものです。
接客時に、点字を読んでメニューを分かるようにします。

【点字メニューのイメージ】

メニュー

モーニングササ

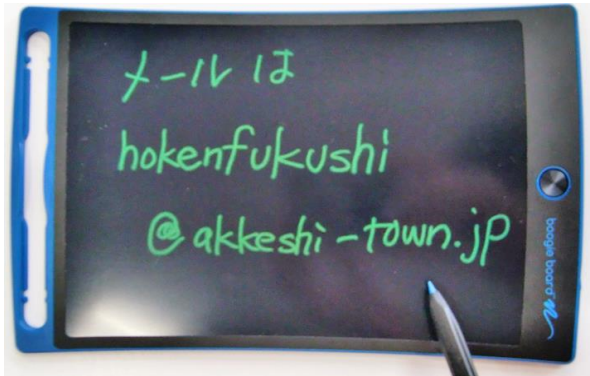
ランチメニュー

セットメニュー

● 物品購入

(例) 筆談ボード

聴覚障がいがある人向けのものです。
書くことでコミュニケーションを図ります。



← 電子式の筆談ボード

アナログ式の筆談ボード →



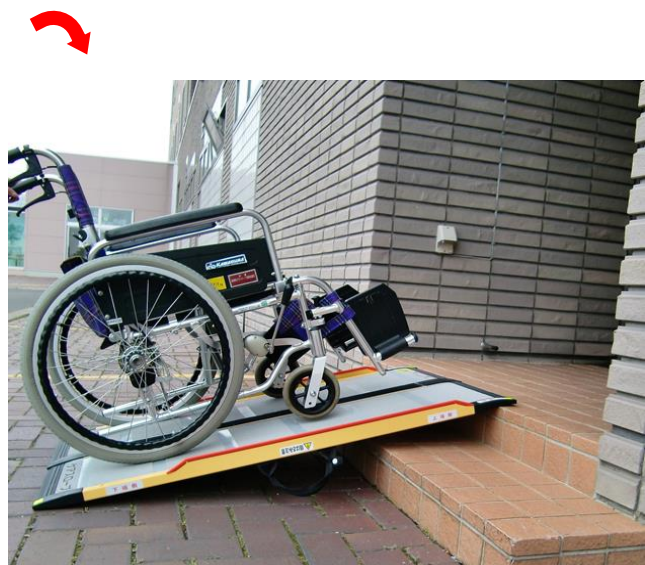
● 物品購入

(例) 折畳み式スロープ

スロープは、車いすを利用している人、段さがあると歩行が難しい人向けのものです。
段差を解消し、歩きやすく、車いすで通りやすくなります。



入口の段差を解消するための
折畳み式スロープ



● 工 事 施 工

(例) 手すりの取付

肢体や視覚に障がいがある人向けのものです。
昇降や立ち上がり時の補助になります。



手すりの取付工事

← 階段がある入口に手すりをつけると、上がる時や降りる時の補助になります。

トイレに取り付けることもできます。→



詳しくはご相談ください

- このパンフレットには、一例を掲載しています。
- ほかに対象となるツール、物品、工事がありますので、ご相談ください。
- 助成を受けるにはいくつかの条件があります。
 - ・ 町内に、事務所や事業所があること。
 - ・ 町税など公納金の滞納がないこと。 など
- 申請や購入・工事完了時には、区分により見積書、カタログの写し、工事図面などが必要になります。（別紙の申請要領をご覧ください。）

お問い合わせ先

厚岸町保健福祉総合センター あみか21
厚岸町保健福祉課 障がい福祉係
電話 0153-53-3333 ファックス 0153-53-3077
メール hokenfukushi@akkkeshi-town.jp